

(3) 電熱器は、200 W、400 W切替えスイッチ付きがよいと思います。長い時間一定の熱量を得るのには、電熱器が安定していて良いです。

(4) 理振法にはあげてないが、小型のヘアードライヤーがあるとちょっとしたものの乾燥には非常に便利です。

2 使用法

(1) アルコールランプ

燃料用アルコールを8割前後入れて使います。アルコールランプに線をつけておいて（写真-23参照）そこよりも上になるようにアルコールを補充します。その理由は、アルコールが少ないと、ランプの中にアルコールの蒸気が充満して爆発事故を起こすことがあるからです。

芯は余り出さない。ふたは転がらないように注意してランプの近くに置きます。

使用後は、ふたを横の方からもって行ってふたをして消します。消火後、ふたを取ってランプを冷却してから完全にふたをしてしまいます。もし熱いうちにふたをしたままにすると、アルコールがランプの口のところに触れ、ランプの口を割ることがあります。

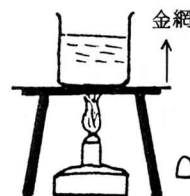


図-48 アルコールランプと三脚の高さ

(2) ガスパナー

ガスの机上の元栓をしめておきます。パナーのガス調節コック、空気孔コックを完全にしめます。その状態で元栓をあけてガスもれのないことを確かめます。

ガスもれがなかったならば、次にガス調節コックを少し開いて、点火します。（あらかじめマッチに点火しておき、2人で協力してやるようにします。）この状態では不完全燃焼の赤い炎になっていますから、空気孔コックを少しずつ開いて空気を入れていきます。炎が小さいときはガスの量を多くします。完全に



写真-25 ガスパナーの炎(1)

（酸化炎、還元炎）をもった炎にします。最高の温度のところが金網にあたるようにします。